

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2016年1月12日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

電気回路の基礎と演習(第2版)

正誤対象

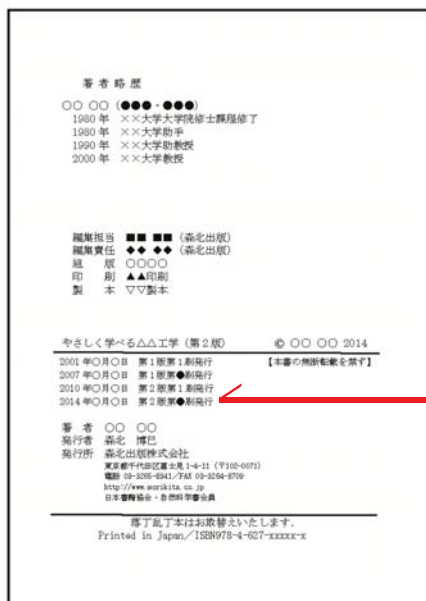
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
2	対応刷数 2 より 6 をご参照ください
3-4	対応刷数 4 より 6 をご参照ください
5-6	対応刷数 6 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
2	36	例題 3.8 の 解 5 行目	$I_1 = \frac{200 \times 100}{100 + 100} = 1.5\text{A}$	$I_1 = \frac{200 + 100}{100 + 100} = 1.5\text{A}$
6	70	5.5	…の正弦波交流電圧の最大値はいくらか.	…の正弦波交流電圧の最大値および <u>平均値</u> はいくらか.
2	78	5 行目	$Z = \frac{V}{I} = \frac{ V e^{j(\theta+\phi)}}{ I e^{j\phi}} = \dots$	$Z = \frac{V}{I} = \frac{ V e^{j(\theta+\phi)}}{ I e^{j\theta}} = \dots \quad (\text{分子の上付きの } j\phi \rightarrow j\theta)$
4	82	式 (6.31)	$Y_0 = \frac{Y_1 + Y_2}{Y_1 Y_2}$	$Y_0 = \frac{Y_1 Y_2}{Y_1 + Y_2}$
2	85	図問 6.8		図右側の R_2 の左にある矢印を削除
2	86	2 行目	…リアクタンス X を接続し…	…リアクタンス $X[\Omega]$ を接続し…
2	93	図 7.2	図右上 $P_a = P + jQ = E\bar{I}$ 図右下 $P_a = P - jQ$	図右上 $\bar{E}I = P + jQ$ 図右下 $E\bar{I} = P - jQ$
2	93	注 1 の 1 行目	…, P と P_a との…	…, P と $E\bar{I}$ との…
2	93	注 3	$ \bar{E}I = \sqrt{P^2 + Q^2} = \dots$	$ \bar{E}I = E\bar{I} \sqrt{P^2 + Q^2} = \dots$
2	97	例題 7.9 の 解 5 行目	…をとるためには Z が最小, …	…をとるためには E を基準フェーズにすると、 <u>Z が最小</u> , …

2	97	例題 7.9 の 解 式④	$I_{\max} = \frac{E}{Z_{\min}} = Y_{\max} E = \dots$	$I_{\max} = \frac{E}{ Z_{\min} } = Y_{\max} E = \dots$
2	102	例題 8.1 別 解 5 行目	$\left. \begin{aligned} R_1 + \frac{1}{j\omega C} I_{\textcircled{1}} - \left(\frac{1}{j\omega C} \right) I_{\textcircled{2}} = E \\ \dots \end{aligned} \right\} \text{閉路方程式}$	$\left. \begin{aligned} \left(R_1 + \frac{1}{j\omega C} \right) I_{\textcircled{1}} - \left(\frac{1}{j\omega C} \right) I_{\textcircled{2}} = E \\ \dots \end{aligned} \right\} \text{閉路方程式}$
2	111	注 1 の 1~2 行目	…において、 E と V の位相が $\pi/2$ であるためには、 ・複素式 K の実数部がゼロ	…において、 ・ E と V の位相が $\pi/2$ であるためには、複素式 K の実数部がゼロ
2	116	8.4	…10 Ω の抵抗を12 Ω に変更した。	…10 Ω の抵抗を14 Ω に変更した。
2	135	例題 9.12 解 2~3 行目	…、アドミタンス Y を最大、すなわち回路のインピーダンス Z を最小に すればよい。	…、アドミタンス $ Y $ を最大、すなわち回路のインピーダンス $ Z $ を最小 にすればよい。
2	135	例題 9.12 解 6 行目	…より始まる。 Z_{\min} は…	…より始まる。 $ Z_{\min} $ は…
2	135	例題 9.12 解 式③	$P_{\max} = \frac{1}{Z_{\min}} E ^2 = \dots$	$P_{\max} = \frac{1}{ Z_{\min} } E ^2 = \dots$
2	141	図 10.1 の上 の見出し	RC 直列回路	RL 直列回路
2	146	例題 10.1 解	… $2.53 \times 10^{-6} = 2.53 \mu\text{F}$	… $2.53 \times 10^{-8} \text{F}$
2	152	図 11.6	図中央 E_{ca}	図中央 E_{ab}
6	164	16 行目	…仮定する。 I_p はCKLで計算できる。	…仮定する。 I_p はKCLで計算できる。
6	164	17 行目	4 未知数ゆえ、 $(I_1 + I_2 + I_3 + I_4)R = V_{ab}$	4 未知数ゆえ、 $(I_1 + I_2 + I_3 + 2I_4)R = V_{ab}$

6	166	3行目	$\dots 30^\circ, 45^\circ, 450^\circ, 60^\circ$	$\dots 30^\circ, 45^\circ, \underline{540^\circ}, 60^\circ$
6	166	7行目	$E_m \cong 8.48\text{kV}, E_a \cong 3.82\text{kV}$	$E_m \cong 8.48\text{kV}, E_a \cong \underline{5.40\text{kV}}$
2	167	7.6	$(Q = 1,200 \text{ Var})$	$(Q = -1,200 \text{ Var})$
2	168	8.4	$I_3 = 9.67\text{A}, I_6 = 6.89\text{A}, I_4 = I_{12} = 2.67\text{A}$	$I_3 = \textcircled{9.6\text{A}}, I_6 = \textcircled{7.2\text{A}}, I_4 = \textcircled{I_{14}} = \textcircled{2.4\text{A}}$
6	168	8.4	$I_3 = 9.6\text{A}, I_6 = 6.8\text{A}, I_4 = I_{12} = 2.4\text{A}$	$I_3 = 9.6\text{A}, I_6 = \textcircled{7.2\text{A}}, I_4 = \textcircled{I_{14}} = 2.4\text{A}$

最終更新 2016.1